



季節のエッセー いわての野草

文・澤口 たまみ
絵・永澤 美貴子

「オオバコ」

(オオバコ科)

一関藩の家紋にデザインされている「車前草」は、これ。
車前草とはよく言ったもので、
オオバコは未舗装なら、路上でも
平気で生える。びったりと地面に広がった葉は、
いかにも踏みつけに強そうだが、
他の草が生い茂る場所では、
たちまち日陰になってしまふ。
どうやらオオバコは「踏みつけられる」という
悪条件を克服し、
逆に利用することによって、
他の草との競争を避けているようだ。
種子の散布方法もしかり。
オオバコの種子は、湿ると粘り気を帯びて、
靴の裏などにくっつきやすくなる。
オオバコが、人の歩くところなら、
たとえ奥山でも生えているのは、そのためである。
日本在来のおオオバコに対して、
葉の細長いヘラオオバコは帰化植物。
花穂は下から咲き上がり、
白い雄しべが土星の輪を思わせる。

参考資料: 澤口たまみ著『岩手の野草百科』(岩手日報社発行)より

純情産地発
クララ

KLARA vol.815
2017.6

タイトルのKlara (クララ) は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

みんなの力で!



がんばろう!岩手
純情産地いわて

contents

季節のエッセー いわての野草	02	みんなの分教場	07
特集		報告!出向く活動班	08
「担い手直送規格」の取り組みについて	03	純情むすめ卒業	09
消費地だより	06	純情人	09
銀河食堂info	06	ニュースワイドアングル	10

特集

「担い手直送規格」の 取り組みについて

資材部



講習会の様子



農家組合員様のお宅へ直送いたします

一度に複数購入される農家組合員様もいらっしゃいます



(2)「取扱講習会の開催」
担い手直送規格の薬剤をはじめてご使用になる農家組合員様向けに、薬剤の特長や上手な使用方法などをご紹介する講習会を開催いたしました。
今後も農家組合員様・JA様のご要望に応じて、同様の講習会を開催していく予定です。

4. おわりに
本会農業事業における生産資材費削減の取り組みとして、今回ご紹介した「担い手直送規格」の品目の拡大を行っていくほか、「ジェネリック農薬」の開発を進めております。

今後もこれらの取り組みにより、生産者・組合員に信頼される生産資材価格を実現します。また、集落営農組織や法人等、大規模経営体への推進を積極的に行うなど、JAと一体となった取り組みを進めてまいります。

通常規格

大型規格

担い手直送規格

※全農ホームページから引用

■ご注意
※小分けでの販売はできません。
※完全受注生産のため、返品はできません。
※専用注文書による期間限定の受注・配送となります。

1. はじめに
本会では「生産者手取り最大化」の取り組みとして、農家組合員の方々が低価格を実感できる特別大型規格品の取り扱いを開始いたしました。
今回はその特徴や岩手県内での導入実態について、ご紹介いたします。

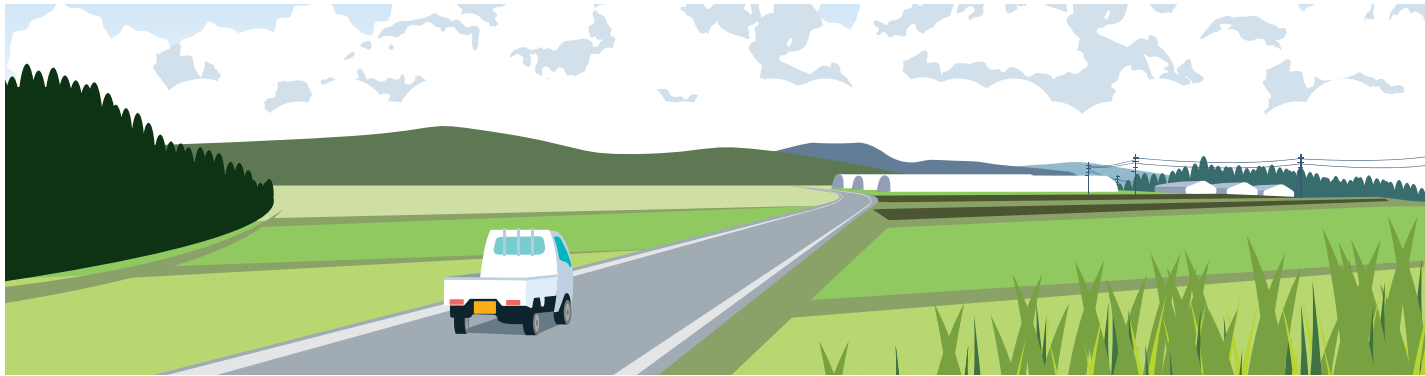
2. 担い手直送規格とは
(1)「特徴」
通常規格・大型規格よりも更に大きな規格です。完全受注生産、生産工場から農家組合員様のご自宅へ直送いたします。

3. 岩手県内での取り組みについて

(1)「出荷実績」
平成29年用において、担い手直送規格の合計受注数量は116本(571畧相当)となっており、東北で2番の利用実績です。

■取扱品目
【水稻用初中期一発除草剤】
サラブレッドKAI 1キロ粒剤 50kg (5ha用)
デルタアタック1キロ粒剤 50kg (5ha用)
バッチリLX1キロ粒剤 50kg (5ha用)
クサカリテイオー1キロ粒剤75 40kg (4ha用)
ナギナタ豆つぶ 10kg (4ha用)
コメット顆粒 4kg (5ha用)
エーワン1キロ粒剤 50kg (5ha用)
ガンガン1キロ粒剤 50kg (5ha用)
トップガンGT1キロ粒剤51 50kg (5ha用)
【水稻育苗箱処理剤】
Dr.オリゼプリンススピノ粒6 50kg (5ha用)
アブライフエルテラ粒 200kg (20ha用)

	受注数(本)	納品先(戸)	面積(ha)
デルタアタック1キロ粒剤	90	27	450
バッチリLX1キロ粒剤	17	9	85
ナギナタ豆つぶ	9	6	36
計	116	42	571



送するなど、徹底した物流コストの削減により、大幅な価格引き下げを実現しています。通常規格と比較して、10㍊あたりの農薬代が20〜30%程度割安になります。

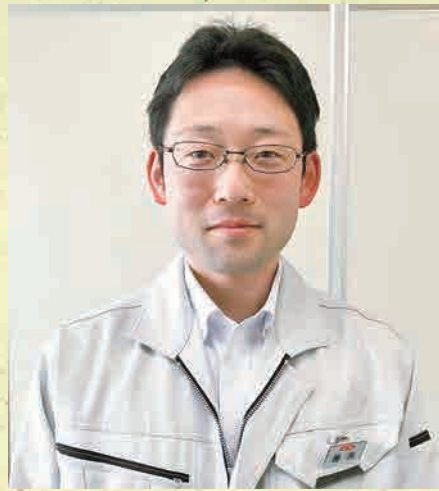
純情ブランド消費地の「今」をリポートします。

消費地販売部 **発**

消費地だより

29年度JA受入出向職員の紹介をします

東京では最高気温が25℃を超える日が続いており、早くも初夏を感じるような気候です。さて、消費地販売部には29年度よりJA新いわて・JA江刺の2JAより職員を受入出向で仲間入りしております。今回は各JAより出向いただいた2名について紹介いたします。



藤原 一順(ふじわら かずまさ)

所属JA
JA新いわて
生年月日
1986年2月11日
趣味・特技
ドライブ、温泉めぐり、美味しいお酒のある店探し
業務内容
岩手県産(主にJA新いわて管内)野菜の販売にかかわる交渉・情報交換
自己紹介
1に嫁、2に車、3に酒が大好き。
単身赴任で東京にきました。よろしく願います。
全農いわて(消費地販売部)での意気込み
農家に近いJAから消費地に近い全農にきました。農家の思いを消費者に伝え、農家も消費者も喜ぶような販売が出来るように全力で務めていきたいと思います。



柏山 潤(かしやま じゅん)

所属JA
JA江刺
生年月日
1983年10月6日
趣味・特技
卓球・スポーツ観戦(テレビ中継専門ですが...)
業務内容
岩手県産農畜産物の販売推進・販路拡大、PR・イベント活動、JA・生産者の消費地研修等の対応
自己紹介
岩手県奥州市水沢区出身、今年4月よりJA江刺から出向し、東京・大田市場内にある消費地販売部にて勤務しております。
全農いわて(消費地販売部)での意気込み
学生時代以来の東京暮らしで戸惑うことしかないと思いますが、県産農畜産物はもちろん、江刺金札米・江刺りんご・江刺牛・江刺野菜といった地元の特産品を首都圏の消費者にどんどんPRしていきたいと思います。

みんなの分教場

消費者に見せられる 倉庫・CE(カントリーエレベーター)について

米穀部 米穀販売課
保管アドバイザー
伊藤 専一

■平成29年度農業倉庫数及び収容力 (平成29年4月1日現在)

項 目	岩手保管機能別			全国保管機能別 収容比率
	倉庫数	収容力	収容比率	
低温倉庫	58	140,060t	36.9(%)	35.2(%)
準低温倉庫	72	111,858t	29.4(%)	7.4(%)
常温倉庫	79	49,262t	13.0(%)	26.3(%)
計	209	301,180t	79.3(%)	68.9(%)
C E	29	78,523t	20.7(%)	31.1(%)
合 計	238	379,703t	379,703t	8,567,470t

農業倉庫の保管管理は、平成27年8月28日の改正農協法第10条8項「組合員の生産する物資の運搬、加工、保管または販売」と保管事業が明記なされたことにより、平成28年4月1日の施行に併せ、農業倉庫業法が廃止となりました。

自主保管マニュアルによる保管管理では、食の安心安全が求められます。平成12年の大手乳業の食中毒、BSE、赤福、吉兆、ミート事件、平成20年8月の国による非食用米穀の食用への転用により消費者の目が厳しいものとなり、法令遵守の取り組みが求められます。

精米工場荷受段階では、包装容器の汚れ、米麦の病害虫・被害カビ被害に対し厳しいチェックが行われ、虫等異物混入は返品対象となります。表示もれば、JAS

法(食品表示)違反につながるため厳しいチェックが行われているなか、保管事業者は、食品事業者の認識が求められます。

JAグループは、これら「食の安心・安全」への積極的な取り組みや岩手県産米レベルアップに機敏に対応するため、農業倉庫209倉庫を対象とし、外気温・湿度が上昇し、米麦の品質管理が難しくなる平成29年5月8日から平成29年6月5日に保管管理の強化運動を展開しています。また、カントリーエレベーターは、平成29年2月に保管美化コンクールを実施しております。

CE美化コンクールは、管理体制、品質管理、防災対策、有資格者、運営管理、環境整備の審査基準を明確にするなか、テーマを「見られる施設から見せる施設」とし実施しています。

最優秀賞は、創意工夫し見せる施設となっている「JAいわて平泉一関CE」。優秀賞には、管理マニュアルに忠実な管理を行っている「JAいわて中央矢巾CE」。奨励賞2CEには、基本に忠実な管理を行っている「JAいわて花巻石鳥谷西部CE」、均衡ある管理となっている「JA岩手ふるさと南都田CE」となっています。

農業倉庫保管事業では、48年前建設倉庫が51%と施設の老朽化が課題となっています。まずは、自分の施設の現状を知ることが大切です。また、温暖化のなか保管環境は毎年変化しており、上級責任者は自ら施設に出向き、施設の現状、保管管理の体制、日常管理の現状、法令の遵守について現場担当者との積極的な意見交換を行い、改善点を明確にする取り組みが必要です。

銀河食堂info

銀河食堂 リニューアルオープン

いわて純情米の店「銀河食堂」は5月8日、今まで以上にお客様に満足していただくため、リニューアルオープンいたしました。従来の夜のコースに加え、2時間飲み放題・料理7品で4,000円の「飲み放題コース」や、全メニューから飲み放題・料理7品で5,000円の「プレミアム飲み放題コース」が新たに追加。岩手の地酒・ワインを中心に充実した品揃えて、皆様をお待ちしております。もちろんお昼は「金色の風」「銀河のしずく」の食べ比べが可能。さらに、銀河食堂名物「県産豚の生姜焼きランチ」や、豊富な品数で大満足の「彩りランチ」(各800円)で新登場。生まれ変わった「銀河食堂」をお楽しみください。

全席 いわて純情米の店

銀河食堂

メニューリニューアル

飲み放題コース はじめました!

料理全7品+2時間飲み放題 4名様以上 要予約

銀河食堂の夜 17:00~22:00 (ラストオーダー21:30)

金色の風と銀河のしずくを食べ比べ! ランチメニューもご紹介します。

岩手県産豚の生姜焼きランチ ¥800

豊富な品数で大満足! 彩りランチ ¥800

その日だけの限定品! 日替わりランチ 銀河御膳 ¥1,500

各ランチごはんのおかわり無料! さらにはいわての牛乳、特産品

■農業倉庫等建設年数について (平成29年4月1日現在)

西暦	2001以降	2000~1991	1990~1981	1980~1971	1970~1961	1960以前	計
低温	5	18	7	14	13	1	58
準低	—	2	8	20	39	3	72
常温	3	1	3	7	50	15	79
計	8	21	18	41	102	19	209
CE	3	22	1	1	2	—	29
比率(%)	4.6	18.1	8.0	17.6	43.7	8.0	238倉庫

巡回点検結果からは、前年度より組織的に創意工夫のなか保管管理体制の整備がなされています。日々の保管管理を大事にしている倉庫も増え、さらなる改善が期待できるものとなっています。しかし、以前の指摘が改善されていない倉庫があり、目標を掲げ細やかな保管管理の実施を要望します。

農業倉庫業法が廃止となりましたが、保管業務の指針とし「自主保管管理マニュアル」を意識した保管業務となります。岩手県JA農業倉庫カントリーエレベーター保管管理協議会は、消費者に見せられる倉庫への環境整備とし各段階で意見交換を実施します。

報告!



出向く 活動班



今回の報告者
担い手サポートセンター
出向く活動班
加澤 直志



TACシステム操作研修会

「出向く活動班」の 取り組みについて

JAいわてグループ農業担い手サポートセンター（以下、サポートセンター）では、今年度新しくTACになられた方々への研修やTACシステムの操作研修（信用部門含む）、また、今年度の新たな取り組みとして、JA-TAC管理者とのミーティングを行っております。

「TACシステム操作研修」

TACシステムとは、JAから担い手へ事業提案ができるよう、TACが訪問した担い手との面談情報を入力し、JAの関係部署と共有化するインターネット上のWEBシステムであります。

また、出向く活動で得た情報などを一元管理し、経営改善の提案を進めていくため、これまで営農部署で使っていた農家訪問活動の内容を集約したTACシステムを、昨年より信用部署でも使えるようにしております。研修は、JAの信用部署から要請があり次第開催しており、5月9日には、JAいわて花巻より依頼があったため、信用部署の管理

者や担当者のべ13名に、TACシステムの操作研修を実施しました。

今後とも要請があれば対応したいと思っておりますので、その際はサポートセンター出向く活動班までご連絡いただければと思います。

【新任TAC研修会】

新たにTACの取り組みをはじめめる担当者の方々に、TAC活動やTACシステムの概要および基本的なシステムの操作について理解してもらうことを目的に研修会を4月26日に開催しました。

TAC活動については、全農本所で発刊されたTACの手引きをもとに、TAC活動の目的や手順、ポイントについての習得を目標に行われました。また、全農本所からは、全農における農業ICTの取り組みについての紹介がありました。

研修会には、県内6JAのべ14名の新任TACの方々に参加をいただきましたが、研修後のフォローについても県域TACでしっかりと行っています。



JA-TAC管理者ミーティング



新任TAC研修会

「JA-TAC管理者ミーティング」

担い手支援強化をはかり、TAC活動をレベルアップするためには、JA-TAC管理者の役割が重要となっています。そのため、JA-TAC管理者の意識づけと育成を目的として4月21日に開催しました。

内容について、サポートセンターからは「出向く態勢の強化（4つの重点施策）」の説明、およびTAC関連年間スケジュールの確認等を行いました。各JAからは、担い手対策の取り組み計画とTACの体制について報告いただきました。

また、TAC管理者が行う日常の基本業務やTACミーティングの運営等のポイントについて、TACの手引きをもとに説明し確認いただきました。今回のミーティングには7JAすべての管理者に参加いただき、今年度は、毎月1回開催することといたしました。

以上の報告となりますが、今年度の研修等は上記以外にも、TACのスキルアップ研修や若手農業者の集い、また、JA-TACのキックオフ大会も開催しますので、次号以降で報告してまいります。

2016

これからも「純情産地いわて」を応援します！

いわて純情むすめ卒業

広大な空をイメージした水色の衣装で元氣いっぱい素敵な笑顔。

「純情産地いわて」のPRに全国を飛び回った2016いわて純情むすめは今年末で卒業を迎えます。1年間本当に疲れ様でした。



酒田 芽李

純情むすめとして1年も活動したなんて信じられないくらい早く時間が過ぎていきました。岩手の魅力を発信するだけでなく、今まで以上に岩手の魅力を実感することができました。多くのことを体験することができ、メンバーとかけがえのない時間を過ごすことができたことは、本当に大切な思い出です。この活動を通し、私自身成長することができ、とても充実した一年でした。感謝の気持ちで一杯です。お世話になった皆様、温かく見守ってくださった皆様、本当にありがとうございました。



佐藤 江津子

振り返ってみるとあっという間で実のある一年だったなと思います。貴重な経験をたくさんさせていただき、岩手の素晴らしいところを学び、伝える難しさもありましたが周りの方の助けもあり1年間やり抜く事ができました。この活動を通してさらに岩手が大好きになりました。1年間本当にありがとうございました。これから純情産地いわてを応援していきます。



玉木 春香

1年の早さに驚いています。純情むすめとしての活動を通して、たくさんの笑顔に出会い、農業の過酷さを知り、岩手の魅力に改めて気づかされました。このような素敵な活動に携われたことを誇りに思うとともに、応援して下さい。1年間ありがとうございました。



千葉 絢加

PR活動を通じてたくさんの方と出会えたこと、さまざまな経験ができたこの1年間は濃いものでした。県内外どこへ行っても岩手の農畜産物は愛されていました。それと同時に人の優しさに触れ、「人との繋がりがいいな」「岩手っていいな」と改めて感じました。お世話になった皆さま、1年間本当にありがとうございました。



田中 舘 美咲

いわて純情むすめになってからの1年間、様々な経験をさせていただきました。7人全員で活動できたのは少なかったのですが、本当にこの6人に出会えたこと、全農の皆さんや生産者の皆さん、関係者の皆さんに出会えたことにとても感謝しています。今まで知らなかった世界を知ることができた貴重な1年間を決して忘れません。これからも岩手の美味しいもの、素敵な場所を大切に岩手県民であることに誇りを持ち生活していきます！



中新井田 沙希

「目の前にいつもチャンスがある」そう思える1年間でした。たくさんの人と出会い、人と向き合うことは自分と向き合うことだと感じました。活動を通じ、より岩手県を好きになり、この1年間経験したことは、私にとってこれから先もずっと宝物です。1年間支えて下さった皆様、大好きなメンバー、心より感謝申し上げます。



野崎 玲奈

純情むすめになって、普通では体験できない貴重な体験をたくさんさせていただきました。岩手の人の温かさ、美味しいもの、生産者の大変さや思いなどを間近で感じることができ、イベントとともに岩手の良さを日々実感し、全国の皆様に発信できたと思います。6月で任期は終わってしましますが、一緒に活動してきたメンバーや多くの出会いに感謝をし、これからも岩手の良さをPRしていけたらいいなと思います。

JA全農いわての
(平成28年度入会)

純情人
じゅん じょう びと



畜産酪農部
家畜市場課
いずみだ そうすけ
泉田 壮祐さん

趣味・特技

ゴルフ・映画鑑賞・食べ歩き

現在の担当業務

主に市場事故の処理を行っており、独り立ちできるように頑張ります。

これからどんな職員に なりたいか

畜産のプロフェッショナルになれるよう、様々なことを学び、成長していきたいです。

その他アピールしたいことがあれば ご自由に記入してください

盛岡近辺でジャンルを問わずおいしいお店があったら是非教えてください！



資材部
肥料農業推進課
すずき ひろ
鈴木 比呂さん

趣味・特技

漫画を読む・DVD鑑賞・野球・ソフトボール

現在の担当業務

現在は資材部肥料農業推進課に所属して、JA新いわて久慈、北部、奥中山の推進担当をしています。

これからどんな職員に なりたいか

誰からも信頼され、まわりを明るくしていけるような職員になりたいです。

その他アピールしたいことがあれば ご自由に記入してください

ソフトボールに興味がある方は、ぜひお声をかけください！

目指せ全国大会

4月29日(土)

全農杯平成29年度全日本卓球大会選手権 岩手県大会

JA全農いわてが協賛する全農杯全日本卓球選手権の岩手県予選会が、花巻市民体育館で開催されました。予選会には118名の選手が出場。小学6年生以下(ホープス)、小学4年生以下(カブ)、小学2年生以下(バンビ)の部に分かれ、



7月に兵庫県で行われる全国大会を目指し、熱戦を繰り広げられました。入賞者にはトロフィーのほか、副賞としていわて牛ステーキなどを贈呈しました。上位入賞を飾った選手達

■ホープス

成績	男子		女子	
	名前	所属	名前	所属
1位	多田 啓佑	花卓ジュニア	佐々木結菜	花卓ジュニア
2位	久保 賢輔	矢巾卓球クラブ	佐藤 詩華	中野クラブ
3位	佐藤 遼太	花卓ジュニア	遠藤唯桜花	一関卓心クラブ
3位	佐藤 颯太	花卓ジュニア	古館沙知子	石鳥谷卓球スポーツ少年団

■カブ

成績	男子		女子	
	名前	所属	名前	所属
1位	小林 レオ	宮古Jr.	照井 莉胡	花卓ジュニア
2位	金澤 海翔	宮古Jr.	菅原菜乃春	一関卓心クラブ
3位	吉田 翔太	中野クラブ	飯田 愛海	洋野卓球クラブ
3位	佐々木希望	宮古Jr.	玉山 結愛	石鳥谷卓球スポーツ少年団

■バンビ

成績	男子		女子	
	名前	所属	名前	所属
1位	南 優翔	洋野卓球クラブ	庄司野乃佳	AobaTTC
2位	吉田 悠翔	中野クラブ	佐藤美菜子	MY TAKU
3位	高橋 成愛	TEC花巻	南 芹那	洋野卓球クラブ
3位	小野寺優介	猿沢スポーツ少年団		

のん「銀河のしずく」田植え

5月20日(土)・21日(日)

宣伝本部長「のん」田植え体験イベント

純情産地いわて宣伝本部長のんさんが、5月20日(土)・21日(日)の2日間、花巻市・紫波町・雫石町の3ヶ所の圃場で、「銀河のしずく」の田植えを行いました。このイベントは産地との絆を深め、県産米への愛着の醸成をはかることが目的。花巻開催では、農事組合法人なべくらの藤井智利氏とともに、田植え機と手植えでの作業を体験。終了後のんさんは「田植え機に乗るのは初めてで緊張しました。手植えは小学校以来でしたが、上達していた気がします。皆さんに愛される素敵なお米が育つと思うと、今からワクワクしています」と、収穫されるお米に期待を寄せました。



「純情産地いわて」の指定席確保に向けて

5月12日(金)

平成29年度いわて純情野菜販売対策会議

JA全農いわて園芸部は花巻市内のホテルで、平成29年度いわて純情野菜販売対策会議を開催しました。会議にはJA担当者、青果会社、関係機関など91名が出席。事業方針や消費地情勢などについて話し合いました。

本年度は、重点市場、重点販売先から求められる園芸品目を安定供給するため、反収向上や生産拡大対策に取り組むほか、生産コスト低減対策として、各品目の反収向上対策をすすめ、流通面では、流通資材の改善や輸送手段の安定確保に取り組めます。



会議の様子(花巻市で)

徐々に気温が上がり、夏らしさを感じられるようになりました。各地では田植えイベントが盛んに行われ、純情産地いわて宣伝本部長の「のん」さんも花巻や雫石の圃場で行われた田植えイベントに参加しました。この模様は、6月24日(土)20:54～「のん、目覚めると宣伝本部長」(テレビ岩手)にて放送予定。

ぜひご覧ください。また、2016いわて純情むすめの任期は残すところあと1ヶ月。7月からは「2017」いわて純情むすめにバトンタッチとなります。2016いわて純情むすめの皆さん、1年間お疲れ様でした。7月号では、新たなメンバーを紹介いたします。お楽しみに！(小野)

今年も田植シーズン到来!県内各地の田植えイベント

5月19日(金)

盛岡市立渋民小学校5年生田植え体験イベント

JA全農いわては19日、盛岡市玉山区渋民の圃場で、盛岡市立渋民小学校5年生を対象とした田植え体験イベントを開催しました。この活動は、JA全農いわてとJA新しいわて、イオンスーパーセンター株式会社が共同で主催し、今年で10年目。参加した50名の児童は、広い田んぼに横一列に整列し泥の感触に歓声を上げながら、丁寧に「あきたこまち」の苗を植えました。田植えを終えた児童は「初めての田植えでしたが、色々な人に教えてもらえて嬉しかったです」「みんなで楽しくやれてよかったです」と笑顔を見せました。

田植えを体験した児童たちは、秋には稲刈り、販売実演を体験します。JA新しいわて東部営農経済センターの今松栄光副センター長は「秋には自分たちが植えたお米を食べることができます。秋の収穫を楽しみにしてほしいです。」と児童に向けて語りました。児童は、一年を通じて米の成育や米づくりの流れを学んでいきます。



5月20日(土)

平成29年度岩手大学生協田植え産地交流会

JA全農いわて米穀部は、JA岩手ふるさと・株式会社純情米いわて、岩手大学生協と共同で、産地田植え交流会を開催しました。岩手大学の学生が参加し、計15名が手植えで丁寧に苗を植えていきました。

交流会では、学生から生産者への質疑応答の時間が設けられました。生産者の小野寺勝志さんは、農業を営むやりがいとして、「産直でお米を売ったときに、お客さんにおいしいねと言われること」と答えました。

学生は交流会の感想として、「お米を食べることは簡単ですが、農家さんの苦労があった上で食べられることが分かり、お米を粗末にはしないと感じました」と生産者の苦労を実感し語りました。

岩手大学生協は、地産地消の一環として水沢限定栽培の「ひとめぼれ」を学食内で提供しています。このことに伴い、学生と生産者との相互理解をより一層深めることをねらいとして、今回の田植え産地交流会が開催されました。今後もJA全農いわては、生産者と消費者の懸け橋を担えるよう、積極的に活動してまいります。

5月20日(土)

「岩手のまんま」田植え体験

JA全農いわて米穀部は、JA岩手ふるさと・ライスフレンド株式会社と共同で、田植え体験交流会を開きました。本県産米を取り扱う関西の販売店のバイヤーが、生産者や農協職員に指導を受けながら、奥州市胆沢区の圃場で田植えを体験しました。本イベントは、県産米への理解醸成を目的として平成10年に始まり、今年で20年目。関西の量販店関係者らに、同農協産ひとめぼれのPRをしています。

栽培されたお米は「岩手のまんま」として、近畿圏のスーパー、量販店、生協、米穀店で販売されます。JA全農いわては今後も県内外の販売店と積極的に交流し、純情産地いわてを全国に広めていきます。

編集
後記

2017 オールいわて

6/ AM9:00~PM4:00
(最終日はPM3:00まで)10^土・11^日生産資材
コスト低減に
向けた農業機械
・技術の提案コスト低減機械・技術の
ステージプレゼン
テーションご来場の方に
受付にて、
もれなく粗品
プレゼント!農作業
効率化・省力化
提案

(規模拡大、ICT、GPS)

イベント

クイズに答えて
「豪華景品」を
ゲットしよう!

【主な展示内容】

- ◎生産資材コスト低減に向けた農業機械・技術のステージプレゼンテーション
- ◎ICT農業関連機械の展示
(通信機器を利用した営農支援)
- ◎大規模化に向けた低コスト提案
- ◎農作業軽労化・農業女子向けコーナー
- ◎JA独自型式・低価格モデル型式
- ◎セルフメンテナンスコーナー
(農業機械の維持コストの削減)
- ◎中古農機展示コーナー
- ◎各社農業機械、フォークリフト
- ◎リース、信用相談、農作業安全
- ◎肥料・農薬の展示

主催 / JA いわてグループ・JA 全農いわて

会場 JAいわて花巻本店
駐車場特設会場

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

私たち全農グループは、
生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋
になります。JA 全農いわて 総合企画課
JA 全農いわてホームページ〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145
<http://www.junjo.jp>